

# 危険箇所を改善しよう！

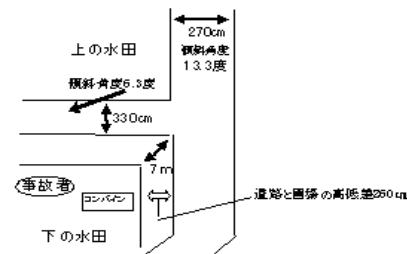
## 危険な場所は見える化を！

コンバインが路肩を踏み外して転落し、運転者が死亡する事例がありましたが、路肩の草で農道と路肩の境が分かりにくかったことが原因の1つでした。

農道の路肩が十分に草刈りされておらず、農道のすみ切りと勘違いし転落。  
(死亡(胸圧迫)・新潟県 74歳男性)



現場の写真



現場の見取り図

路肩が明確になるように農道脇の草刈りを行うのは勿論のこと、ポールを立てるなど、危険箇所の「見える化」を進めましょう。

## 危険な路面、路肩は補修・拡張を！

田植機が未舗装の農道を走行中に前輪が横滑りして脱輪、転倒。運転者が負傷する事例がありました。が、道が狭く滑りやすかったことが原因でした。

現場の写真

道はもともと狭く(およそ1.4m)、片側の縁は軟らかくて、車輪が食い込んだり、滑るため、それを防ぐために木の板(写真の黒まる部分)を敷いていた。当日は降雨で板が濡れており、濡れた板の表面で前輪が横すべりして脱輪。  
(打撲・滋賀県 75歳男性)



農道(幅はおよそ1.4m)を上から見たところ(稲円のところに木板を敷いていた)

路面、路肩の補修、農道の拡張など検討すると共に、補修に用いる材料の特性を考慮するなど、現場に併せた対策を行いましょう。

農道等を対象とする草刈りや補修などの基礎的な保全管理活動を地域共同で実施する場合、農林水産省「農地・水保全管理支払交付金」による支援の活用も可能です。